

伊藤貞蔵

号

伊藤竹坡

いとう・ていぞう

いとう・ちくは

福山藩儒者(福山伊藤家4代)

経歴

生:宝暦10年(1760年)

没:文政11年(1828年)7月17日、享年69歳、定福寺に葬る

安永8年(1779年)	19歳	出仕
天明2年(1782年)1月25日	22歳	儒者見習
天明8年(1788年)10月27日	28歳	儒者本役、弘道館教授
寛政5年(1793年)	33歳	三代学術世話取
文化9年(1826年)	52歳	勇鷹神社(阿部神社)造営御用掛

生い立ちと学業、業績

生い立ち

宝暦10年(1760年)、伊藤修佐(蘭畹)の長子に生まれた。
字は貞蔵、名は弘享、号は竹坡、また巖恭先生。

学業と業績

福山藩儒。

安永8年(1779年)出仕。天明2年(1782年)1月25日儒者見習となる。

天明8年(1788年)8月31日、父であり第3代の伊藤修佐の死により、家督・家業を継いで第4代となった。

天明8年(1788年)10月27日儒者本役に任じ、弘道館教授となる。

寛政5年(1793年)三代学術世話取をつとめた。

文化9年(1826年)、阿部家の祖霊を祀る勇鷹神社(阿部神社)造営御用掛に任じた。

文政11年(1828年)7月17日没す。享年69歳、定福寺に葬る。

墓碑の誌

文化7年(1810年)、福山市沼隈町下山南菅野に「長谷川新右衛門顕彰碑」を誌す。

伊藤家の相続

儒家としての伊藤家は、福山藩士川越氏より迎えた女婿が、第5代伊藤文佐(蘆汀)を名乗った。

出典1:『福山の今昔』、148頁、浜本鶴賓著、立石岩三郎刊、大正6年4月26日

出典2:『福山の碑』、54頁、「長谷川新右衛門の碑」、三上勝康著、福山市文化財協会刊、昭和50年11月20日

2004年12月6日更新●2006年6月15日更新:タイトル●2008年2月12日更新:経歴・本文●2010年3月18日更新:氏名・経歴・本文・出典●2010年3月29日更新:本文●2012年2月29日更新:本文・出典●